

1. 事業の必要性及び概要

**新規事業化**

当該交差点は、変則のロータリー形状となっていることから、交通形態が複雑で追突事故や右左折時の事故などが多発しています。

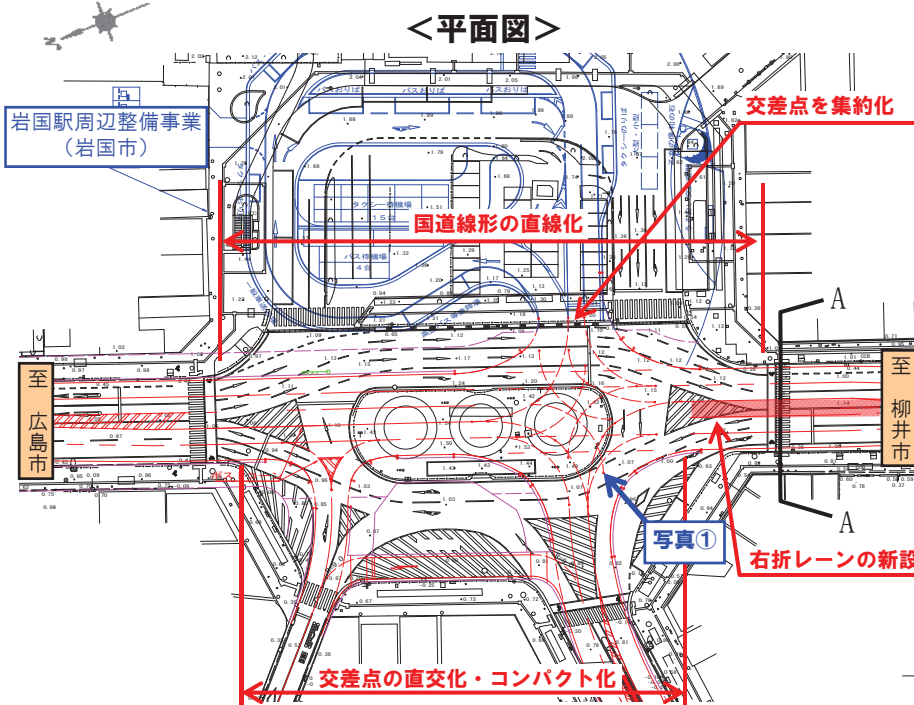
このため、岩国市主体で進められている「岩国駅周辺整備事業」と連携して国道部分の交差点改良を行い、事故の抑制を図ります。

2. 事業箇所

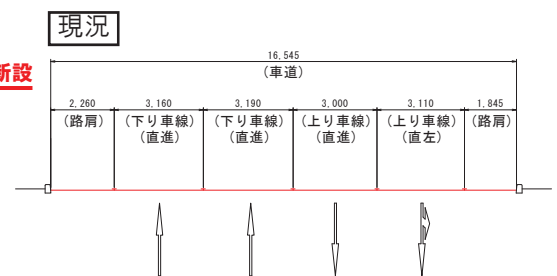
いわくに まりふまち  
 山口県岩国市麻里布町

3. 平成30年度 予定事業内容

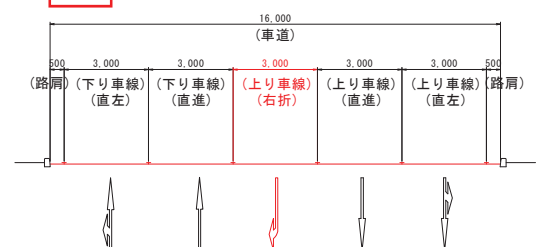
調査設計及び工事を推進します。



<横断面(A-A断面)> 単位:m



**計画**



<写真①>



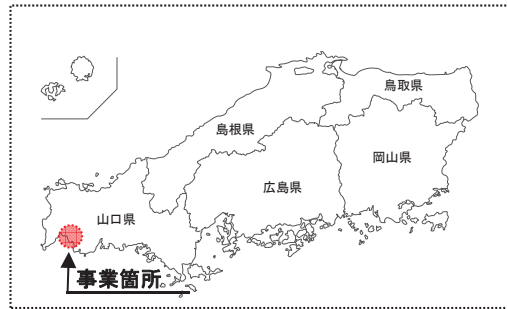
完成予定

### 1. 事業の必要性及び概要

さんようおのだ  
山陽小野田電線共同溝は、電線共同溝を整備し無電柱化することで、安全で快適な歩行空間の確保並びに震災時における緊急輸送道路の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりの支援を目的とした事業です。

### 2. 事業箇所

さんようおのだ にしたかどまり  
山口県山陽小野田市西高泊地内



### 3. 平成30年度 予定事業内容

平成30年度の電柱撤去に向け、調査設計を推進します。

#### 《整備の必要性(イメージ写真)》

○道路上に設置されている電柱は、災害時の倒壊により道路を閉塞させるおそれがあるほか、歩行者等の通行や良好な都市景観の形成の妨げとなっています。



<電柱の倒壊による道路閉塞の事例>



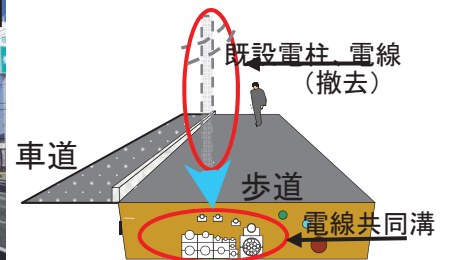
<歩行の支障となる電柱の事例>



#### 《現地状況》



#### 《イメージ図》



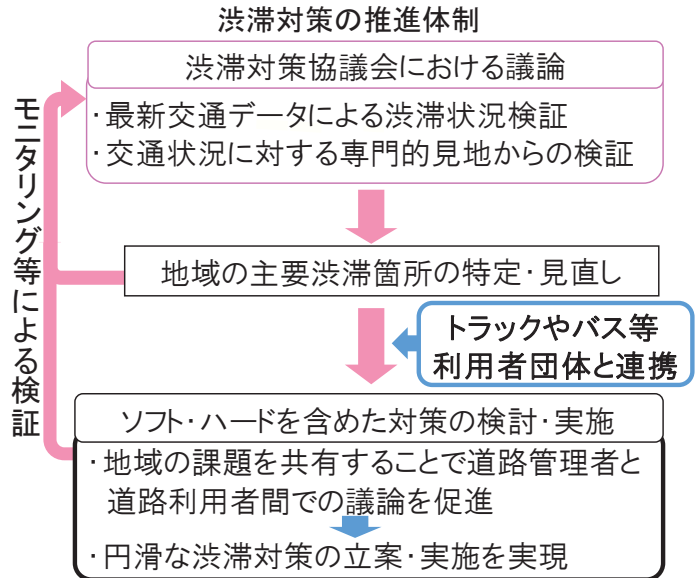
### 4. 期待される整備効果

・道路上から電柱や電線がなくなることにより、安全で快適な歩行空間の確保が図られ、震災時の電柱倒壊による通行止めの心配がなくなるため道路の防災性が向上します。また、電線がなくなることにより、良好な都市景観の向上が期待されます。

### 1. 事業の概要

各県単位で、道路管理者、警察等から構成される渋滞対策協議会において、効果的な対策を検討・実施しています。

この渋滞対策協議会とトラックやバス等の利用者団体との連携を強化し、利用者目線で対策箇所を特定した上で、速効性のある渋滞対策を実施します。



### 2. 主な事業箇所・事業内容

みなみがくま  
国道9号南隈交差点  
(鳥取県 鳥取市)



<<右折レーンの延伸を予定>>

にしつだ  
国道9号西津田交差点  
(島根県 松江市)



<<右折レーンの延伸を予定>>

ふくとみ  
国道2号BP福富交差点  
(岡山県 岡山市)



<<右折・左折レーンの延伸を予定>>

じょうなん  
国道54号広島城南交差点  
～県立総合体育館前交差点  
(広島県 広島市)



<<路面標示及び案内誘導の見直しを予定>>

ふじやま  
国道190号藤山交差点  
(山口県 宇部市)



<<車線運用の見直し等を予定>>

## 事業推進

## 1. 事業の必要性及び概要

徳山下松港は背後に基礎素材型産業が集積しており、平成23年5月には、国際バルク戦略港湾(石炭)に宇部港とともに選定される等、更なる発展が期待されています。

石炭を海外から直接輸入する企業は独自に石炭を調達しているところであるが、各社が利用するそれぞれの既存ターミナルは、大型石炭運搬船に対応しておらず、積荷調整による非効率な輸送が行われている状況にあり、大型石炭運搬船による効率的な輸送体制の確立が課題となっています。

このため、下松地区、徳山地区および新南陽地区において、国際物流ターミナルの整備を推進します。

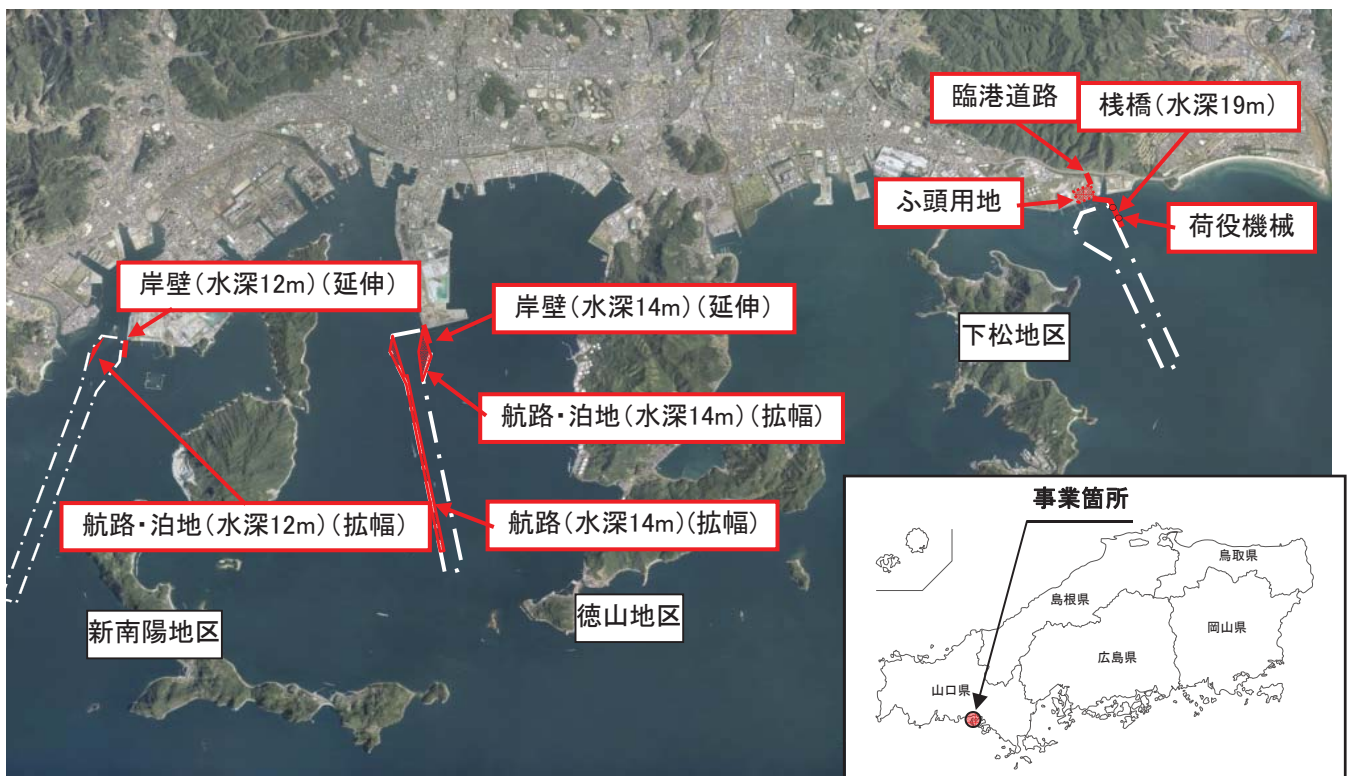
## 2. 事業箇所

しゅうなん くだまつ

山口県周南市、下松市

## 3. 平成30年度 予定事業内容

下松地区棧橋(水深19m)の棧橋等工事を推進します。



## 4. 期待される整備効果

本事業により、石炭等のバルク貨物の企業間連携による大型穀物船を活用した共同輸送の進展により、安定的かつ低廉な物流を確保し、基礎素材型産業の国際競争力強化を通じ、日本経済の発展、雇用の確保等に寄与します。

## 事業推進

### 1. 事業の必要性及び概要

岩国港は、石油化学コンビナート等を有する工業港であるとともに、国際コンテナ貨物の取扱港として地域経済を支える重要な役割を担う港です。

しかし、同港内のふ頭間を結ぶアクセスルートがないため、同港背後企業から発生する港湾関連車両は、慢性的に混雑している国道2号を利用せざるを得ず、非効率な輸送形態となっています。また、室の木地区から発生する港湾関連車両は、生活道路を通行せざるを得ないことから、周辺的生活環境の改善が課題となっています。

このため、港湾貨物の輸送円滑化を図るため、臨港道路の整備を推進します。

### 2. 事業箇所

山口県岩国市

### 3. 平成30年度 予定事業内容

臨港道路の下部工事、地盤改良工事等を推進します。



### 4. 期待される整備効果

本事業より、ふ頭間の臨港交通ネットワークの構築による物流効率化を通じて、背後企業の国際競争力強化に寄与します。また、生活道路を通行していた港湾関連車両の通行ルートが新たに確保されることにより、生活環境の改善に資することが期待されます。

**事業推進**

1. 事業の必要性及び概要

宇部港は、背後に集積する基礎素材型産業を支える工業港として重要な役割を担っており、平成23年5月には、国際バルク戦略港湾(石炭)に徳山下松港とともに選定される等、更なる発展が期待されています。

しかし、航路が水深11mでの暫定供用となっているため、大型貨物船が満載で入港できず、効率的な輸送への対応が課題となっています。

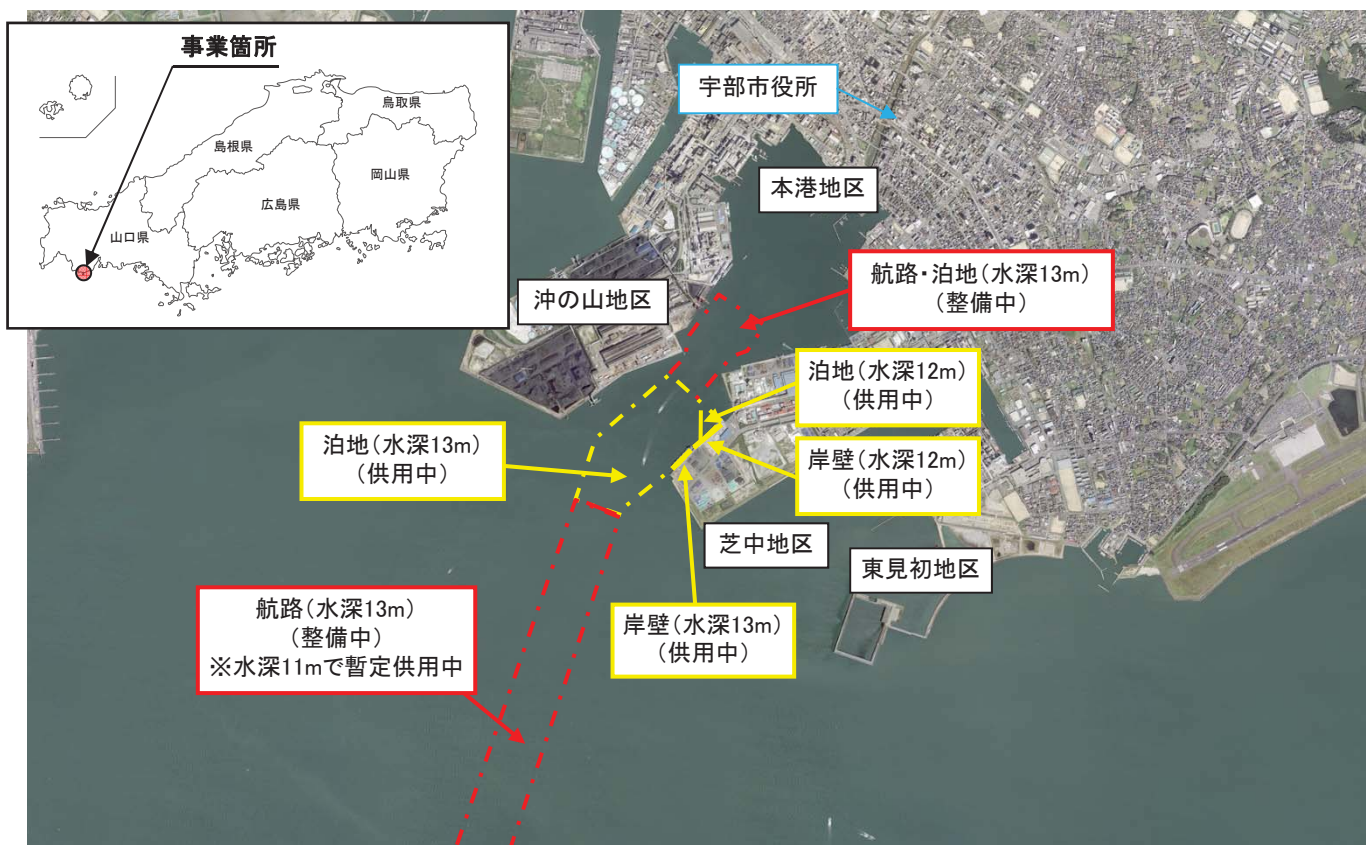
このため、大型貨物船による効率的な輸送に対応するため、水深13mの航路整備を推進します。

2. 事業箇所

山口県宇部市

3. 平成30年度 予定事業内容

航路(水深13m)、航路・泊地(水深13m)の浚渫工事等を推進します。



4. 期待される整備効果

本事業により、大型貨物船の満載による効率的な輸送が可能となり、物流コストが削減され、基礎素材型産業の国際競争力強化を通じ、日本経済の発展、雇用の確保等に寄与します。